

文系視点でみる 監査人のためのサイバーリスク対策はわかり講座

日時 2027年(令和9年)1月27日(水) 10:00~17:00 (6H)

参加方法 オンライン参加: ZoomによるLive配信

講師

日本マネジメント総合研究所合同会社 理事長
公認不正検査士 (CFE) 日本ハッカー協会会員

とむら
戸村 智憲 氏



お申込ページはこちら

対象

監査役、内部監査部門、リスク管理部門、総務部門、内部統制部門、
コンプライアンス・CSR部門、監査法人、監査系コンサルタント、ISO部門など

開催にあたって

昨今のDX推進や生成AI活用の掛け声に呼応して、それらに宿命的なサイバーリスクへの対策・脆弱性・改善点などを、監査人として把握・指摘・指導することが強く求められています。

加えて、サイバーテロやサイバー攻撃に備え、自社・サプライチェーン全体で、サイバーリスク対策の底上げや監査指導・監査指摘・改善提案をしていく必要があります。

そこで、監査人自身のプライベート(ご自宅・ご家庭・ご家族)でも、また、監査活動・業務面でも、わが身も組織も守るサイバーリスク対策・サイバーコンプライアンス対応について、文系監査人の目線・経営視点・現場感覚でわかりやすく実務的な「はわかり講座」をご用意しました。

エッセンスをギュッと凝縮してお届けする1日間セミナーで、監査人にとってのサイバーリスク対応力アップへのヒントを盛りだくさんでお届けします。

学習指標

- ◎文系視点で身近なところからサイバーリスクの重要ポイントを習得する
- ◎サイバーリスク対策の重要なエッセンス・監査指摘上の視点などを備える
- ◎「要するに何?」「平たく噛み砕いて言うとうどういうこと?」を解消する
- ◎手頃にお得にムリなくできる公私ともに役立つサイバーリスク対策の習得

■参加料(1名様) ※テキスト・資料代などを含みます。

- ◇日本経営協会会員(1名): 34,100円(税込)
- ◇一般(1名): 41,800円(税込)

■キャンセルについて

会場参加: 開催日の3営業日前~前日のキャンセルは参加料の30%、開催当日のキャンセル・ご欠席は参加料の100%を申し受けます。

オンライン参加: 開催日の5営業日前~当日のキャンセル・ご欠席は参加料の100%をキャンセル料として申し受けます。

■オンライン参加について

- ・セミナーの録音、録画、映像のスクリーンショット等は固くお断りしております。また、自ら又は第三者を通じて、セミナー動画およびテキスト・資料の転載、複製、出版、放送、公衆送信その他著作権、知的財産権を侵害する一切の行為をしてはならないものとします。
- ・本セミナーにお申込み登録をいただいていない方のご受講は固くお断りしております。

■その他

参加者が少数の場合、天災、その他の不可抗力の場合などにおいては、中止・延期させていただく場合があります。

■受講お申込み方法

★2026年度からのNOMAセミナー申込が変わります!
※研修管理システム「manaable(マナブル)」を導入!

★セミナー申込までの流れ

- 1 本会HP (noma.or.jp/)、またはmanaableのNOMA専用サイト (noma.manaable.com/) にアクセス
- 2 ご希望のセミナーを検索
- 3 manaableから「セミナー申込」
※初回の方は「ご担当者登録」「企業・団体登録」の後にお申込みの流れとなります。
- 4 お申込み後、manaableサイト内で申込状況等の確認が可能
※本会にて申込内容を確認(通常、0~2営業日内)後、ステータスが「承認」となりご受講確定となります。
※ZoomURL等、受講に必要な情報もmanaable上でご確認いただけます。
※受付確認メール、参加券、また請求書の紙面発行はなくなりました。
※請求書は、manaableサイト内からPDFダウンロードいただけます。

プログラム内容

1. サイバーリスク対策の過去・現在・未来

- ITに疎い監査人にとってのサイバーリスク対策というハードルを越える
 - IT用語を使わずに文系視点でかみ砕いてサイバーリスクを見つめなおす
 - 全国的に見受けられる監査法人からのIT統制の監査指摘一覧と対策ポイント
 - DX推進に呼応して宿命的なサイバーリスク対策を監査人としてどうするか？
 - 生成AIの光と影：
生成AIのワナの考察とGPT監査の主要なテスト手法
 - サイバーセキュリティ事件簿：
世の中を騒がすサイバー攻撃のあれこれ
 - ランキング形式でお届けするサイバーセキュリティの重要課題と対策
 - 要するに実務的に何をどうするよう監査指摘・監査指導すれば良いのか？
 - 「パスワードを定期的に変更する」は国際的な非常識：どう監査指導する？
 - 金をかけず日々の習慣でサイバーリスク対策の底上げをする7つのポイント
 - DX・生成AI・リモートワークなどでのサイバーリスク対策や監査上の留意点
 - サイバーリスク保険や補助金・助成金を活用する監査指摘・監査指導のヒント
 - サイバー攻撃・ウイルス感染の「いざという時」にどうする？
 - 普段からのサイバーリスク対策訓練・緊急対応チーム作り・相談先について
 - 危機管理型クラウドでのIT-BCP・DR（ディザスタ・リカバリー）対策
- など

2. サイバーコンプライアンス：

サイバー関連の法的な15のポイント

- 監査人が知っておきたい主なサイバー関連の主な法的課題と対応：
①不正アクセス禁止法、②不正競争防止法・営業機密保持、③欧米や中国などでの反スパイ等の関連法令、④通信傍受法（犯罪捜査のための通信傍受に関する法律）、⑤電子署名法、⑥電子帳簿保存法、⑦経営陣・幹部・管理職における善管注意義務や管理監督責任、⑧役職員すべてに関わるソーシャルメディアコンプライアンス（SNSコンプライアンス）（(C) 戸村智慧）、⑨SNS投稿と誹謗中傷・厳罰化された侮辱罪・名誉棄損・メディア等での違法性阻却事由、⑩サイバー空間での人権リスクやハラスメント（メタバース/VR/SNS/ネット上における諸課題）、⑪個人情報保護法・番号法などにおける4つの安全管理措置、⑫テレワーク/リモートワーク/ワーケーションにおける外部作業環境でのサイバーリスク対策、⑬システム管理基準/システム監査基準、⑭サイバーセキュリティに関するガイドライン類、⑮サイバーテロ対策/サイバーテロに備える自社・サプライチェーンでの監査指導、など
 - 平時/有事のリモート監査対応の課題と対策ポイント
 - 各種IT機器とサイバーリスク対策
 - 訴訟対応と賠償金リスク対策でのサイバー保険での備え
 - いざという時の緊急対応と情報源
- など

3. 質疑応答

※本セミナーの指導項目などについては、最新の動向などをより良くお届けできるよう、事前の予告なく増補・補足・改訂・修正・変更などを行う場合がございます。予め悪しからずご了承下さいませ。

講師プロフィール

早大卒。米国MBA修了時に学業評価/人物審査で学長推薦にて全米トップ0.5%のみに授与される全米優秀大学院生を受賞。米国Ph.D博士後期課程中退。

国連勤務にて、国連内部監査業務の専門官、国連戦略立案専門官リーダー、ESG・「ビジネスと人権」関連の普及啓発・広報業務などを担当。退官後、学術では、経営行動科学学会理事や岡山大学大学院非常勤講師など、経営ではJ A長野中央会の顧問、上場IT企業JFEシステムズのアドバイザー、IT商社(株)アシストの顧問や、業界団体の会長・役員などを歴任。テロ対策指導で警察本部より感謝状受領。

元・Google社長との国際会議場でのAI特別対談や、世界初でのリスク管理指標「KRI」「KCI」や東日本大震災前から世界初でクラウドの災害対策活用モデル「危機管理型クラウド」の開発・学会発表・普及啓発にも尽力。弁護士・公認会計士・医師・看護師などプロの専門家/士業を指導するプロとしても活動。

著書36冊。代表作に『企業統治の退廃と甦生』（中央経済社）など。NHK「クローズアップ現代」TV出演や、日テレ日曜ドラマ「ブラッシュアップライフ」に主演の安藤サクラさんとセスナの教官役でのドラマ共演・航空監修など、TV・ラジオ・寄稿連載など多数。

日本マネジメント総合研究所合同会社 理事長
公認不正検査士（CFE） 日本ハッカー協会会員

とむら ともりの
戸村 智慧 氏



メールマガジンのご登録



新規講座や申込を開始したセミナーを定期的にご案内しております。ご興味のある方はぜひご登録をお願いいたします。

[登録はこちら⇒](#)



メールマガジン登録用QR

★研修管理システム「manaable(マナブル)」を導入！

お申込みや事務処理の迅速化、ペーパーレス化を目的として、お客様自身で管理できる研修管理システム(マナブル)を導入いたしました。

[詳細はこちら⇒](#)

